



←協会ロゴ兼エンブレム

16年7月制定。前会員・加藤隆久氏の力作。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボール追って流そう爽やかな汗」を訴える。「1973」は協会創立年。半世紀近い歴史。



時の顔
吉田沙緒里。津市出身。36歳。至学館大職。33年間レシング選手生活。最強女性。119連勝。5輪V3・世界大会V16。「東京」後輩に託し引退。

満開 春の教室

新会員証を配布中

19年度会員証(紫色)を郵送、手渡しの方法で配布中です。氏名などを確認し、番号を記憶しておくとう便利。

「春季教室」、日曜3週、腕を磨く受講者たち(ダミール)



基本と実戦ダブルス

初日の3日は午後から雨予報。少々前倒し課程。午前9時に開始。準備運動のストレッチ。シヨ



初日、早くもダブルス形式での練習も(3日・市民公園Aコートで)

8人 日曜3回 特訓に汗

桜まだ早い3月3日(日)、協会活動の今季スタートとなる「春季テニス教室」が市民公園Aで始まった。3日、10日、17日の日曜3回。午前9時から午後1時まで4時

間、計12時間の講習。受講者8人。男子はリピーターも。2班に分かれて基本技術から実戦ダブルスまで熱心に腕を磨いている。桜前線より一足早く、春の汗満開。

瀬戸市スポーツ功労者等顕彰

高木順・前会長ら受賞



18年度、全国大会などで顕著な成績を残した瀬戸市民を表彰する市スポーツ功労者等顕彰で高木順(=写真=前会長)ら9人が功労賞を受賞。高木は「ねんりんピック(富山・テニス)」で永野博(尾張旭)と組み、愛知の先鋒として通算7勝1敗、3度目Vの原動力となった。ほか奨励賞15人、計24人の表彰式は3月3日、瀬戸蔵で開かれた。「金一封」は無し。功労賞の9人は次の通り(ほか奨励賞15人)。高木順(硬式テニス)、庄司麻衣・阪井空(陸上競技)、木下凌佑(硬式野球)、藤本果子(水泳)、伊藤蒼生(ソフトボール)、山田美諭・杉山元太(テコンドー)、富菜月(サンボ)

クイズ3Q

Q1. 瀬戸市テニス協会規則、何か条で出来てる?
Q2. 全豪終了時点で錦織と大坂のツアー優勝数の合計は?
Q3. ジョコビッチ対ナダルの直接対決成績はジョコの何勝何敗?

トラリ、ボレー、ボレー、ボレー。対ストロークでウオームアップ。基本のフォアストローク、バックストローク、フォアボレー、バックボレー、スマッシュ、サーブとほぼ全種目に進んだ。手ごわいバックボレーやスマッシュ空振りに悩みながらも時には鮮やか! 会心の一撃も。終盤はダブルス陣形での実戦的練習。雁行陣でのクロスラリーや攻撃的平行陣にも取り組んだ。試合形式の練習まで進み、ナイスショット、好カバも見せた。予定以上の進行。順調な上達ぶり。最終日はルール・マナーも学び、ダブルスゲームを楽しむ。

市選手権男子4強—左から3位・黒岩、
初優勝・和崎、準優勝・下林、3位・岩成

18年9大会の成績

市選手権女子4強—左から3位・中川、
準優勝・飛山、5連覇・浦野、3位・沖胡



シングルス選手権 (9月2日)

《男子》
優勝=和崎 省伍(aiのある場所)
準優勝=下林 直人(楽しいが一番)
第3位=岩成 洋平(ロング・ロング・ロング)
黒岩 竜二(aiのある場所)

《女子》
優勝=浦野 優子(JUEGO)
準優勝=飛山のみ子(ストロベリー
フィールズ)
第3位=沖胡 美紀(JUEGO)
中川 美恵(フリー)



※JUEGO(フェゴ)=スペイン語「遊び」「楽しい」

春季大会 (4月22日)

《男子1部》
優勝=和崎省伍・中村 恒
(aiのある場所)
準優勝=八百山浩幸・富士和仁
(チーム愛牧)
第3位=山上 剛・小澤康太
(aiのある場所)
吉岡 建・村瀬洋一
(テニコロ)



《女子1部》
優勝=池本麻里絵・井戸田
嘉奈子(JUEGO)
写真前㊦
準優勝=大島美香・犬飼陽子(ロ
ング・ロング・ロング)同㊦
第3位=沖胡美紀・土屋菜月
(JUEGO)同後㊦
竹山桂子・高 桃子
(BRIO)同後㊦

《男子2部》
優勝=加藤 渡・加藤瑞貴
(BEARS)
準優勝=金川誠二・根岸洋平
(BRIO)
第3位=小川栄二・坪田義正
(BRIO)
浅田将義・笠井隆行
(フリー)

《男子壮年》
優勝=福島浩平・加藤 勤
(T・B・M)
準優勝=加藤孝平・杉浦敏光
(みろく)
第3位=谷口元之・相地健治
(フリー)
長谷川了・加藤昭生
(みろく)

《女子2部》
優勝=宮城清美・森いずみ
(HNT)
準優勝=中谷直子・鈴木真美
(ロング・ロング・ロング)
第3位=加藤千里・安田美菜
(BEARS)
舟田聡子・牧野比佐江
(ロング・ロング・ロング)

団体戦 (5月20日)

《男子》
優勝=BRIO・3
準優勝=aiのある場所
第3位=瀬戸信金、BRIO
《女子》
優勝=JUEGO
準優勝=丸新
第3位=BEARS、はちみつレ
モン

市民大会 (5月27日)

《一般男子単》
優勝=高木亘紀(テニス協会)
準優勝=加藤隆久(テニス協会)
第3位=奥村孝二(フリー)同
脇野伸行(フリー)



(左から高木、加藤、奥村、脇野)

《一般男子複》
優勝=加藤智之・小林雄太
(ウィル瀬戸)
準優勝=津田信孝・寺澤良平
(BEARS)
第3位=加藤 渡・石川 均
(BEARS・ロング)
伊左治孝紀・森 康美
(瀬戸信金)

《一般女子複》
優勝=立元香里・横山直美
(フリー)
準優勝=加藤千里・安田美菜
(BEARS)
第3位=杉山 瞳・高橋利恵
(フリー)
藤本智子・高石美咲
(フリー)

《ミックス》
優勝=水野慎一・水野杏奈
(フリー)
準優勝=川西秀夫・稲垣陽子
(MATC)
第3位=小笠原史久・小笠原
まり子(アルパトロス)
《シニア単》
優勝=磯村信芳(T-B)
準優勝=谷口元之(テニス協会)
第3位=松元一彦(テニス協会)
相地健治(テニス協会)

ミックス大会 (6月24日)

優勝=畑 亮介・安藤美奈
(ウィル)
準優勝=若山滉志郎・榎谷梨香
(aiのある場所)
第3位=小出真弘・池本麻里絵
(JUEGO)
高木亘紀・高 桃子
(BRIO)

旭对抗戦 (8月5日)

瀬戸19勝10敗の大勝で
前年の雪辱。(晴丘コート)

100歳ダブルス

(9月22日)

優勝=山口嘉裕・殷 耀晨
(西山クラブ)
準優勝=近藤峰夫・高木 順
(テニス協会)
第3位=黒瀬達也・川口 綾
(ARP)
高塚敏夫・中垣孝行
(ロング・ロング・ロング)

レディースチャレンジ

(10月3日)

優勝=藤田由佳・中村麻由
準優勝=伊東陽子・平松美和
第3位=森田理恵・平田慶子
(所属はいずれもフリー)

秋季大会 (10月7日)



《男子1部》
優勝=原田敦也・中筋孝臣
(aiのある場所)
写真前㊦
準優勝=和崎省伍・黒岩竜二
(aiのある場所)
同前㊦
第3位=高木亘紀・高木 順
(テニス協会)同後㊦
井林知之・佐藤久義
(JUEGO)同後㊦

《女子1部》

優勝=池本麻里絵・井戸田
嘉奈子(JUEGO)
準優勝=浦野優子・森山由香
(JUEGO)
第3位=長谷川貴子・土井智子
(NAS)
富永紗織・西堀和恵
(aiのある場所)

《男子2部》
優勝=坪田義正・小川栄二
(BRIO)
準優勝=嶋 利男・奥村慎二
(ロング・ロング・ロング)
第3位=石川 均・稲葉 巧
(ロング・ロング・ロング)
洞口和史・岡野敏春
(チーム呑助)

《男子壮年》
優勝=渋谷尚紀・近藤峰夫
(遊YOU)
準優勝=福島浩平・加藤 勤
(T・B・M)
第3位=加藤孝平・外山三起夫
(みろく)
谷口元之・柴田高良
(テニス協会)

《女子2部》
優勝=奥村麻美・水野 都
(ロング・ロング・ロング)
準優勝=牧野比佐江・舟田聡子
(ロング・ロング・ロング)
第3位=加藤千里・福島菜摘
(BEARS)
森田理恵・平田慶子
(フリー)

壮年・レディース

(11月25日)

《壮年》
優勝=水野 斉・高木 順
(M1・テニス協会)
準優勝=清家善之・加藤昌也
(NAS)
第3位=黒瀬達也・佐川 純
(NAS)
大石 悟・加藤 渡
(ロング・BEARS)

《レディース》
優勝=宮城清美・川口 綾
(HNT)
準優勝=長谷川貴子・土井智子
(NAS)
第3位=浦野優子・森山由香
(JUEGO)
蜂谷有加里・西田里奈
(フリー)

2019年度 大会など全日程

各大会、集合時刻
にご注意ください

★第21回 レディース教室

4月3日(水)～5月22日(水)の水曜8回。市民公園Aで午前9時～11時。瀬戸市在住・在勤または協会員女性。先着20人。参加費=1人5,000円。受付=3月15日～27日・体育館窓口で。予備日=5月29日、6月5日。3月15日付け広報掲載。

★春季大会

4月21日(日)午前8時20分～午後7時・市民公園で(午前7時から使用可)。Aコート集合=男子8時20分(時差集合者もあり・ホームページのドロー表に掲示)。女子・壮年=9時30分受付。瀬戸市内在住・在勤または協会員。複。男子1部・2部・壮年(50歳以上)、女子1部・2部・壮年(50歳以上)。先着計120組募集。学生は不可。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。受付=3月15日～4月3日。予備日=5月5日(日)。3月15日付け広報掲載。

★クラブ・職場対抗団体戦

5月12日(日)午前8時20分～午後7時・市民公園Aで(午前7時から使用可)。集合=8時20分。先着男子16、女子12チーム。男子=複2・単1、女子=複2(1勝1敗時、パートナーを替えて7点先取タイプレ)。参加費=男子1チーム3,000円、女子1チーム2,000円(協会員も有料)。受付=4月3日～5月8日。予備日=5月25日(土)。4月1日付け広報掲載。

★第70回 市民大会テニス

5月26日(日)午前9時～午後7時・市民公園A・B(午前7時から使用可)、南が丘で。一般男子単・複、女子複、混複、シニア(男子60歳以上+女子50歳以上)単、高校男女複。瀬戸市内在住・在勤者に限る(協会員でも市外者は出場不可)。参加無料。受付=4月17日～5月8日。予備日=6月2日(日)。4月15日付け広報掲載。
※午前8時から体育館で総会開会式。

★指導者講習会

6月1日、6月8日の土曜2回。市民公園Aで午後5時～7時。引き続き9時まで自由練習会。教室指導者に限らず協会員多数参加募る。無料。受付なし・当日現地集合。予備日=6月15日(土)。

★第25回ミックスダブルス大会

6月23日(日)市民公園で午前8時20分～午後7時(午前7時から使用可)。時差集合者もあり。瀬戸市内在住・在勤または協会員。混合複。先着64組募集。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。受付=5月15日～6月5日。予備日=6月30日(日)。5月15日付け広報掲載。

★第29回 瀬戸地方高校新人戦

7月27日(土)、29日(月)市民公園A・Bで午前7時～午後5時。瀬戸市近郊高校生男女の単複。参加費=1人800円。予備日=7月30日(火)。学校関係者に案内。

★ナイターテニス教室

8月3日、10日、17日、24日の土曜4回。市民公園Aで午後6時～9時。瀬戸市内在住・在勤・在学または協会員。先着60人。参加費1人4,500円。受付=7月3日～31日。予備日=8月31日(土)、9月7日(土)。7月1日付け広報掲載。

★第30回 瀬戸市単選手権

9月1日(日)市民公園で午前8時20分集合(時差集合者あり)、8時30分開始(午前7時から使用可)。午後7時まで。先着男子64人・女子32人の単。参加費=1,000円(協会員も有料)。受付=8月1日～14日。予備日=9月8日(日)。8月1日付け広報掲載。



自信あった
全豪制覇・世界1位となつた大坂なおみ。優勝の翌日、海辺で会見。ド派手ワンピース姿。とてもうれし。全米はサプライズだったが、今回は自信があったという。「今、したいことは？」と問われ「ゆつくり寝たい。そしてカツ丼食べたい。全米以降、食べないから」と笑わせた。最後はこんな状況でも諦めずに戦えばチャンスは来ることを学んだと結めた。

★第14回 100歳ダブルス大会

9月7日(土)午前9時～午後7時・市民公園A・Bで(午前7時から使用可)。今年末年齢で男複=100歳・混複=90歳・女複=80歳以上の統合戦。市内在住・在勤または協会員。先着48組。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。受付=8月1日～21日。予備日=9月21日(土)。8月1日付け広報掲載。

★第13回 レディースチャレンジ

10月2日(水)市民公園で午前9時～午後1時。市内在住・在勤または協会員女性の複。中級以下。先着32組。参加費=1組2,000円(協会員無料)。受付=9月4日～18日。予備日=10月9日。9月1日付け広報掲載。

★秋季大会

10月6日(日)市民公園で午前8時20分集合(時差集合者あり)、8時30分開始～午後7時(午前7時から使用可)。男子1部・2部・壮年(50歳以上)、女子1部・2部・壮年(50歳以上)。壮年、女子は9時30分開始。市内在住・在勤または協会員のダブルス(学生は不可)。先着合計120組募集。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。受付=9月4日～18日。予備日=10月13日(日)。9月1日付け広報掲載。

★第9回 高校学年別大会

11月2日(土)、4日(月)市民公園A・Bで午前7時～午後5時。瀬戸市近郊高校1、2年生男女の学年別単・複(男女計8部門)。参加費=1人800円。予備日=11月9日(土)。学校関係者に案内。

★瀬戸協会一旭連盟 対抗戦

11月~~17~~¹⁷(日)南が丘コートで午前9時～午後5時。尾張旭連盟との対抗団体戦。男子複、女子複、混合複。例年の酷暑8月開催を変更。出場希望の協会員は役員にお申し出下さい(20人程度が)。昼食弁当を用意します。予備日=~~11月17~~^{12月22}(日)。

★壮年・レディース大会

11月24日(日)市民公園で午前9時～午後5時(午前7時から使用可)。男複、女複。市内在住・在勤・または協会員の男子45歳以上、女子40歳以上。先着各32組。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。受付=10月15日～11月6日。予備日=12月1日(日)。10月15日付け広報掲載。

★協会創立記念大会・総会

12月8日(日)市民公園Aで午前9時～午後5時。親睦ダブルス。途中、正午から午後1時まで体育館で総会。往復はがきで通知。返信下さい。雨天の場合は総会のみ開催。

★協会理事会・理事親睦大会

20年2月16日(日)午前11時から午後1時まで体育館で理事会。1時～5時はAコートで理事親睦大会。往復はがきで理事に通知。返信下さい。雨天時、理事会のみ開催。

★20年 春季テニス教室

3月1日、8日、15日の日曜3回。市民公園Aで午前9時から午後1時まで。市内在住・在勤・在学者または協会員。先着60人募集。参加費=1人4,500円。受付=2月1日～26日。予備日=3月22日(日)。2月1日付け広報掲載。

★第35回 瀬戸地方高校生大会

3月20日(金)、21日(土)市民公園A・Bで午前7時から午後5時まで。瀬戸市近郊高校生男女別の単・複1の団体戦。参加費=1チーム4,000円。予備日=3月23日(月)。学校関係者に案内。

会費振込口座

◆瀬戸信用金庫 店番=044 口座番号=0852209 瀬戸市テニス協会 会長 稲垣将樹
◆同じく瀬戸信 店名=共栄支店 店番=008

口座番号=0269862 瀬戸市硬式テニス協会
◆ゆうちょ銀行 店名=二〇八 店番=208 口座番号=1411190 瀬戸市テニス協会

役員・予算決める

協会は2月10日(日)午前1時から午後1時まで体育館で19年度理事会を開催。役員26人のうち委任含め25人が出席。①新年度方針②19年度役員③大会・教室・練習会など行事日程④年間予算⑤その他―を決めた。閉会後はAコートで親睦大会を楽しんだ。

19年度理事会 主な決定と報告

- ◆副会長はじめ理事ら19年度役員(右下一覧)
- ◆9大会・3教室ほか行事などの日程(3面一覽)
- ◆収支244万円弱・予備費約45万円の予算
- ◆春季・秋季など5大会は8時20分集合・30分開始。うち4大会は時差集合。ドロ―表をホームページ掲載。他の4大会は9時集合。開会式省略
- ◆大会出場資格確認を徹底。「学生不可」に関し申し込み受付の体育館に可否基準を事前説明
- ◆女子2部の振興策、高齢者向け大会の新設は見送り。今季は従来通り
- ◆市民公園コートの凸凹修理を市へ追加要望
- ◆排水ローラー1台購入(ソフトテニス協と折半)
- ◆瀬戸市内在住・在勤者新規加入の入会金免除は継続。年会費3,000円据え置き
- ◆会費納入用に瀬戸信に2つ目の口座

収支244万・予備費45万円

理事2人退会

役員選出では、昨12月総会で選任された会長を除く19年度の体制は右の通り決まった。加藤隆久、町田ひさ子の両理事が退任(退会)。補充はなし。

19年度予算(高校生3大会を含む)は会員250人を想定し、収支総額約243万8000円。主な収入は会費75万円、体協助成20万円、大会参加料105万円、前期繰越金44万円。主な支出は大会運営費125万

円、ボールなど消耗品10万円、総会・理事会費12万円、通信費(会報郵送費)25万円、コート代13万円、体協負担金6万2000円など。水掃き用ローラー(10万円)をソフトテニス協会と折半で1台購入。器具庫に保管。雨上がり大会のAコートでのスポンジ「お水取り」は軽減されそう。これらにより予備費(次期繰越見込み)は約45万円となる。

日	大会	担当者	会議日
4月13日	春季大会	稲垣将樹、磯村和信、樋口剛央	4月13日
5月18日	団体戦	稲垣将樹、磯村和信、森川繁	大会当日
6月15日	市民大会	稲垣将樹、磯村和信、加藤徳ほか	5月18日
8月24日	ミックスダブルス	稲垣将樹、磯村和信、森川繁	6月15日
8月24日	瀬戸市選手権	稲垣将樹、磯村和信、樋口剛央	8月24日
大会当日	100歳ダブルス	稲垣将樹、磯村和信、高木正	大会当日
大会当日	レディースチャレンジ	近藤峰夫、四俵孝子	大会当日
9月28日	秋季大会	稲垣将樹、磯村和信、高木正	9月28日
11月16日	壮年・レディース	稲垣将樹、磯村和信、樋口剛央	11月16日

今年(瀬戸)は11月10日(日)午前9時から南が丘コート4面に変更して開催する。

理事会 5大会 8時20分受付

体育館付近の3駐車場は超満車。探すのに一苦労。理事会は10分遅れの開会。議長に加藤徳太郎氏を選出。26人中、本人出席20+委任5の計25人。規則第11条により過半

数出席で成立を確認。まず2期目・稲垣会長が新年度方針を提起。「昨年同様、円滑な運営をめざす。諸問題には柔軟に対応すること」

時差集合HPで確認を

運営部計画では、大会の所要時間と待ち時間短縮のため開会式は省略。春季、団体戦、ミックス、市選手権、秋季の5大会は午前8時20分集合・受付で8時30分試合開始。この5大会のうち団体戦を除く4大会は時差集合。ドロ―表をホームページに掲載。第1集合(Aコート)で8時20分受付と、第2集合(遅組)9時集合&受付後すぐ開始。

Aコートで理事親睦大会(写真)。思い思いにダブルスゲームなど



親睦大会楽しみ
午後5時に散会

理事会終了後、午後1時からAコートで理事親睦大会(写真)。思い思いにダブルスゲームなど

大会日程



あっ！忘れた 理事会討議の様相を撮り忘れました。議事進行要領を示す黒板(2月10日・体育館で)

＜各月4回・計28回 市民公園Aでナイター 3個面確保予定＞

4月	3日(水)、6日(土)、10日(水)、17日(水)
5月	4日(土)、8日(水)、15日(水)、22日(水)
6月	5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)
7月	3日(水)、10日(水)、17日(水)、24日(水)
8月	7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水)
9月	4日(水)、11日(水)、14日(土)、18日(水)
10月	2日(水)、9日(水)、12日(土)、19日(土)

※コート使用許可証は近藤がまもめて保管。当日、管理人に提示しておきます。◎は主責任者

4月	◎近藤峰夫、石川均、吉田伸子
5月	◎磯村和信、鈴木愛高、古賀昭一
6月	◎近藤峰夫、森川繁、田中整
7月	◎樋口剛央、久米孝幸、四俣孝子
8月	◎近藤峰夫、古賀昭一、高木淳子
9月	◎高木正則、八百山浩幸、加茂冷子
10月	◎近藤峰夫、長江茂幸、磯村千沙子

ルール講習会 6月16日(日) 午前9時～午後1時
 (南が丘コートで) 10月20日(日) 午前9時～午後1時



瀬戸市テニス協会規則

第1条 名称
 本会は瀬戸市テニス協会と称する。

第2条 目的
 本会はテニスを通じて会員相互の健康と親睦を図り、技術の向上とテニスの普及と振興を図ることを目的とする。

第3条 事業
 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
 ①瀬戸市体育協会に加盟すること
 ②各種競技大会の開催
 ③講習会および教室の開催
 ④瀬戸市を代表する選手を選考し各種大会に派遣すること
 ⑤その他本会の目的を達成す

第4条 会員
 本会の会員は瀬戸市在住・在勤者および理事が入会を認めたとする。

第5条 会費
 入会金および会費は次の通り定める。
 入会金 1000円
 会費年額 3000円

第6条 役員
 本会に次の役員を置く。
 会長・1名 副会長・若干名
 会計・3名以内 理事・20名以上 相談役・若干名

第7条 理事の選出
 理事は会員相互の推薦により選出、理事会にて決定する。

第8条 役員の選出
 役員は理事会での理事の互選により選出するものとする。ただし、会長は総会にて選出する。

第9条 役員の任期
 役員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

第10条 総会
 総会は年1回年末に開催する。総会にて各部年間活動報告、並びに会長選出を行う。

第11条 運営
 本会の運営については理事会

第12条 での協議の上、決議により定めるものとする。会長は必要により理事会を開催する。

第13条 理事会は本会の最高決定機関である。

第14条 理事会は本会の最高決定機関である。

第15条 理事会は本会の最高決定機関である。

第16条 理事会は本会の最高決定機関である。

第13条 会計
 本会の会計は会員からの会費・入会金及び体育協会交付金により行うものとする。毎年、年度末に会計報告を行い、総会の承認を得る。

第14条 会計年度
 本会の会計年度は毎年1月1日より12月31日までとする。

第15条 規則の変更
 本規則は、理事会において過半数以上の役員が出席し、その3分の2以上の同意を得なければ変更できない。
 (平成17年2月 一部改正)

第16条 規則の変更
 本規則は、理事会において過半数以上の役員が出席し、その3分の2以上の同意を得なければ変更できない。
 (平成17年2月 一部改正)

第17条 規則の変更
 本規則は、理事会において過半数以上の役員が出席し、その3分の2以上の同意を得なければ変更できない。
 (平成17年2月 一部改正)

日本デ杯本戦入り 中国に逆転勝ち



単2勝のダニエル

男子国別戦・デ杯の本戦進出。11月の本戦に進んだ。決定戦(2月1、2日・広州)で日本は中国に3勝2敗で逆転勝ち。

【日本】()は年齢・所属
西岡良仁(23・ミキハウス) 西岡良仁(23・ミキハウス)が初日第1試合で66位・西岡が262位・李に3-16、2-16で敗れ、第2試合で69位・ダニエルが208位・張に7-6、6-14で勝って1勝1敗。
翌日の複で内山・勉組が張・公組に7-5、5-7、4-6で敗れる誤算。王手をかけられたが、続く単で西岡が309位・呉に6-2、6-0で快勝。ダニエルも足ケイレンを抱えながら、李に6-3、6-7、6-13で辛勝。
18か国による本戦は新ルールで11月、マドリードで開催。

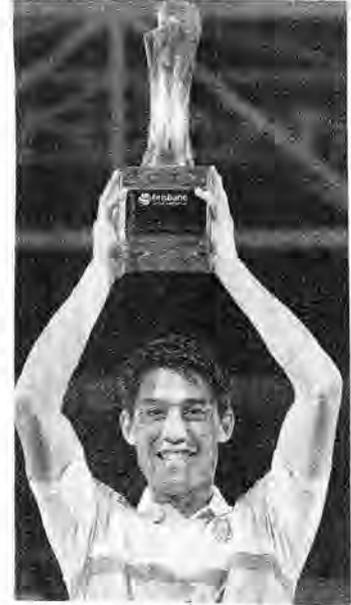
錦織3年ぶり12勝目

決勝連敗9で止めた今季開幕戦・全豪前哨戦のプリズベン国際で第2シード・錦織(世界9位・29歳・日清食品)が決勝で第4シード・メドベージェフ(16位・ロシア・22歳)を6-4、3-6、6-2で下し優勝。賞金992万円を獲得。

内山の敵討ち。ロシアの新鋭・メドベージェフに昨ジャパンOPのリベンジを果たして優勝。決勝での連敗を「9」で止めた。
◆錦織の話「雪辱できてよかった。全試合、高水準のプレー」

錦織の12勝

2008	デルレービーチ
2012	ジャパンOP
2013	全米室内
2014	全米室内
	バルセロナOP
	マレーシアOP
	ジャパンOP
2015	メンフィスOP
	バルセロナOP
	シタイOP
2016	メンフィスOP
2019	プリズベン国際



メドベージェフに雪辱し開幕戦で優勝。トロフィーを掲げる錦織

杯ス。ペインに逆転負け



最終戦 加藤(右)・二宮組完敗

女子国別戦・フド杯ワールドグループ(WG)2部1回戦で日本はスペインと対戦(2月9・10日、北九州)。初日、123位・日比野が78位・ソリベスに快勝。土居が161位・ガルシアに最終セット、タイブレークに勝つてあと1勝としたが、日比野がガルシアに敗れ、最終戦の複も加藤・二宮組が1-6、3-6の完敗で2勝3敗。

女子国別戦・フド杯ワールドグループ(WG)2部1回戦で日本はスペインと対戦(2月9・10日、北九州)。初日、123位・日比野が78位・ソリベスに快勝。土居が161位・ガルシアに最終セット、タイブレークに勝つてあと1勝としたが、日比野がガルシアに敗れ、最終戦の複も加藤・二宮組が1-6、3-6の完敗で2勝3敗。日本は4月20・21日、オランダと2部入れ替え戦に臨む。

開幕戦・プリズベン

で優勝できたのは自信になる。予選上がりの内山靖崇が3回戦進出。14位で第3シードのエドムンド(英)を7-6、6-14で倒し、初のツアー8強。シャルデイに最終セット、タイブレークで惜敗し、錦織への挑戦権を逃した。

西岡は初戦でメドベージェフに3-16、4-6で敗退。A・マリイは2回戦敗退。第1シード・ナダルは左太もも痛で欠場。
複の錦織・西岡組は初戦で豪へAに惜敗。マクラクラン・勉シニエルフ組は準々決勝で敗れた。

【日本】
日比野菜緒(フランス) 奈良くるみ(安藤証券)
土居 美咲(ミキハウス) 二宮 真琴(橋本総業)
加藤 未唯(サイマックス)

本はスペインと対戦(2月9・10日、北九州)。初日、123位・日比野が78位・ソリベスに快勝。土居が161位・ガルシアに最終セット、タイブレークに勝つてあと1勝としたが、日比野がガルシアに敗れ、最終戦の複も加藤・二宮組が1-6、3-6の完敗で2勝3敗。日本は4月20・21日、オランダと2部入れ替え戦に臨む。

大坂、バインと契約解消



練習場に大坂が現れず、別コートにいたり、素っ気ない会話...ドバイで会った大坂は「キヤリアでの成功よりも自分の幸福感が第一」と、金銭原因説を否定。WTA最優秀コーチのバインには引く手あまたとが。

「もうサーシャと一緒に戦うとはありません」大坂がサーシャ・バインとのコーチ契約解消を電撃発表。バインは「楽しい旅路だった。仲間に加えてくれたことに感謝」とコメント。
全豪では奇妙な場面も。所定の1時間練習を15分で中止。

錦織は4強入りしたが、準決勝で元3位・パブリンカ(スイス)に2-16、6-4、4-6で敗れた。最終セット、強サーブに苦しめられ、要所でミスも出て決勝進出を逃した。ランクは6位にアップ。
女王大坂、初戦負け
大坂は背中痛で2月11日からのカタールOPを欠場。女王初戦は翌週下バイ選手権の第1シードで敗れた。



女王・大坂、初戦で完敗

初戦2回戦で67位・ムラデノビッチ(仏)に3-6、3-6のまさかの完敗。
1stラウンド確率40%台、ストロークは不安定、小技も失敗。プレーク7つを許し、「こんなに破られたのは生涯初めて」とガツクリ。会見では「バイン解任の影響はあったかも。注目されて重圧を感じた。サーブは悲しかった。練習不足もあってミスが多かった。でも惨敗後も快勝が私の特長」と涙しながらも強気談話。連覇と1位維持の「米・パリバ」(3月7日)に新コーチとともに挑戦。
錦織は2回戦敗退
ドバイ男子(2月25日)、初出場の錦織(6位・第1シード)は1回戦で65位・苦手のペール(仏)を6-4、6-13で下したが、2回戦で77位・フルカチュ(ポーランド)に5-7、7-5で迎えた最終セット、先にブレークを許し、2-6で失つて敗れた。日本男女が第1シードのこの大会、ともに期待外れて早々に敗退。
◇西岡初戦負け「メキシコOP1回戦で西岡はノリー(英)に2-16、6-2、2-6で屈した。」

ローレウス世界スポーツ賞
NAOMI 躍進賞
大坂が「ローレウス」で世界スポーツ賞を受賞。年初60位に躍進した大坂は「個人目標は1位に到達すること。世界一の選手になるのが目標。賞金は嬉しいが、賞状がほしい」とコメント。
全豪V報奨金800万円
日本テニス協会は全豪女子単初優勝の大坂におみに報奨金800万円を贈ることを決定(2月15日)。全米優勝時と同額。



大坂、全豪優勝 「世界1位」奪取

クビトバと熱闘…全米に続き2冠
4大大会今季初戦・全豪(1月27日まで)女子単決勝で大坂なおみ(世界4位・21歳)がクビトバ(チキ・6位)に2時間27分の接戦を制して初優勝し世界1位となった。男子はジョコビッチ(セルビア)が宿敵・ナダル(ス・ペイン)に完勝して3年ぶり最多7度目優勝で4大大会15勝目。錦織(29歳)は準々決勝ジョコビッチ戦、途中棄権。

来るかなおみ時代
女子決勝最終セット、大坂5-4で迎えたサーブゲーム、40-15。センターへのサーブにクビトバが跳びついたが大きく左アウト! 「2冠女王・なおみ」が誕生した。第1セットを取れば5-9連勝。その第1セットをタイムプレで先取。第2セット、5-3のリターンゲーム

男子は準決勝をともに完勝した1位・ジョコビッチと2位ナダルの対決。過去ジョコビッチが7勝5敗。ジョコビッチは開始からサーブ、リターン、ストローク絶好調。確実にキープし、ラリーでは先に仕掛けてナダルを振った。全てキープ、計5ブレーク。凡ミスはナダル28

ナダルに完勝、4大大会3連勝
本に対し9本。6-3、6-1、6-1の完勝。わずか2時間4分で決着。賞金約3億2000万円獲得。4大大会3連勝で15勝目。フデラーの20、ナダルの17に迫った。「目標は20」と意欲。10年ぶり2度目Vを逃したナダルは得意の全仏で雪辱を期す。

エルベール・マユ組全制覇
男子複は第5シードのエルベール・マユ組(仏)がゴンチネン(フィンランド)・ピアース(豪)組を下して初優勝。史上8組目の4大大会全制覇を達成。第8シードのマヌラ・クラン勉(シトルフ組、ダニエル・ミルン組)はともに初戦負け。混複はクレイチコバ(チキ)・ラム(米)組が優勝。勉・二宮組は1回戦で敗れた。

＜女子単 準々決勝以降＞

セレナ	21	21
⑦ Ka・プリスコバ	20	62 46 64
⑥ スピトリナ	20	62 46 64
④ 大坂なおみ	20	76 57 64
⑧ クビトバ	20	76 57 64
⑬ パーティ	20	76 60
44パプリュチェンコバ	21	76 60
35コリンズ	21	76 60

(数字はシードまたはランク)

◆新女王の話＝『人前で話すのは苦手です…。苦難から復活のクビトバと初対戦は光栄。ファン、関係者、チームに感謝する。メモを用意したが、何を話すか、忘れた』
◆クビトバ＝28歳。182センチ左腕の強打者。全英2度Vを含むツアー26勝。17年末、刃物強盗に襲われ左手首に重傷、手術。



＜男子単 準々決勝以降＞

① ジョコビッチ	10(61, 41)棄権	30
⑧ 錦織 圭	31	60 62 62
⑬ ラオニッチ	31	63 62 63
28 ブイユ	31	62 63
22 パウティスター	30	62 64 60
⑭ シチパス	30	62 64 60
39 ティアフォー	30	62 64 60
② ナダル	30	62 64 60

複はストーサー・張帥組
女子複決勝はストーサー(豪)・張帥(中国)組が第1シードのバボシニコ・アラデロビッチ組を下して初優勝。日比野・クラウチク(米)組が初戦で加藤・二宮組を倒し、3回戦に進んだがチキ・ペに敗退。第1シードの穂積・ロソルスカ組と青山・ミザワ組は2回戦敗退。タフ錦織も1週で限界。錦織は準々決勝ジョコビッチに1-5連敗。開始から動きが悪く、1-4となったところでリタイア。4回戦までの第1週で長い試合が続いた。王者戦前日は練習をキャンセルして休養したが、疲れ

◆錦織の話＝『左足に強い痛みが来て、打つ度に痛く、動けなかった。バクと戦う時は、いつも満身創痍で…。今回も8強以上に進めなかつたことにはとても悔いが残る』
西岡、ダニエルはともに2回戦敗退。伊藤電馬は初戦負け。

「3歳児」急成長

「すくすねる3歳児」が最終セットに現れた時は別人。ミスにくさらず攻撃姿勢を貫いて頂点に。2季で10+減量。動きは軽く

サーブも進化。ドロップも試す。焼肉、うなぎで体力増強とか。1、2回戦を快勝。大苦戦の3回戦27位・謝、4回戦12位・セバ。ストワを連続逆転し初の8強。昨ツアーファイナル優勝のスピトリ

ナに快勝。「東レ」決勝で敗れたプリスコバにも雪辱し決勝。アングラー・コントロール(怒り自制)を覚え、4大大会連勝で世界1位。「5歳にはなつたかな?」と「なおみ節」。大坂時代開幕か。

で痛んだ体は戻らなかつた。1、2回戦フルセット。初戦は相手のケイレンに救われ、2回戦は強サーバー・カロビッチ(73位・クロアチア)に2-10から苦戦。59本のエースを浴び、新採用の10点タイムプレで辛勝。3回戦はソウザ(44位・ポルトガル)に快勝。カレノフスタ(23位・ス・ペイン)との4回戦が響いた。0-2から驚異の粘りでも最終セットへ。10点タイムプレも5-8から大逆転。5時間5分の激闘を制し、3年ぶりに8強入りしたが、正念場のジョコビッチ戦を前に第1週で体力・気力を消耗し、限界が早すぎた。翌週のランクで7位にアップ。

幻の「241」協会ごめん、瀬戸駅伝棄権

練習の試走で相次ぎ足故障

昨12月の瀬戸駅伝、協会チームは2人が故障のため4人揃わず棄権した。登録5人のうち、事前のコース試走中に靭帯損傷、足首捻挫。協会の助成を受け、「足ニス」で昨年の最高記録53分57秒更新をめざしていたが、無理して「本業」を棒に振っては本末転倒…と、無念の決断。(写真は、着けられなかったゼッケン「241」と協会PRロゴ)



渡辺棋王を破り朝日杯連覇の藤井七段

100勝／朝日杯連覇

瀬戸市川北町のプロ棋士、藤井聡太七段(16歳)が2月16日、朝日杯準決勝で行方八段、決勝で渡辺棋王を連破して2連覇を達成。

- ◆藤井君「3冠100勝」
- ◆最年少116歳4か月
- ◆17歳6か月、羽生善治
- ◆デビューから2年2か月
- ◆2年3か月、羽生
- ◆18敗・勝率8割4分7厘
- ◆8割2分6厘・中原誠

藤井君 B級昇格は逃す

昨年末の銀河戦で阿部七段に勝ち、最年少最短期間最高勝率の3冠100勝を達成。順位戦(C級1組・39人)は新記録19連勝と師弟同時昇進をかけた9戦目でともに黒星(のち、師・杉本は七段1990勝で八段に)。8勝1敗4人の最終局(3月5日)、師弟とも勝つたが藤井君は序列4番で2位に入らず昇格を逃した。50歳・杉本八段はB級復帰。藤井七段首振り人形・900体(大谷翔平似)を将棋連盟が発売、即日品切れの人気。

無冠「羽生九段」0から再起へ

羽生竜王は藤井君100勝に「空前絶後の大記録」と絶賛。自身は「100か0か」タイトル100期をかけた12月の竜王戦で広瀬八段に敗れ27年ぶり無冠。肩書は優遇される「前竜王」でなく、「九段」を選ぶ心意気。



「すみれ」10歳・囲碁プロ

大阪の小学生。韓国修業。目標の井山五冠、世界女王・崔九段(韓国)や台湾女王らとも対局。父は九段、母は囲碁教室主宰。東京の12歳・上野梨紗も姉を追ってプロ入り。長久手の羽根彩夏(16歳)は3代連続プロに。



区間賞の藤中(名城大へ)から3区・阪井が力走。阪井も力走、2位で4区へ

愛知優勝

瀬戸の庄司・阪井が力走。全国女子駅伝(1月・京都・9区間)で愛知が3年ぶり2度目

都道府県駅伝・女子

の優勝。瀬戸の庄司麻衣(デンソー)、阪井空水無瀬中)が貢献。庄司は激戦1区、粘って9位。3区・阪井は僅差2位で繋いだ。中盤先頭。2秒差2位で受けたアカ！鈴木亜由子が京都を逆転、6.2秒差ゴール。

マリイ初戦負け引退？
腰痛手術から昨年6月復帰後も不調が続くアンディー・マリイ(英・31歳)は全豪初戦でパウテイスタに0-2から挽回してフルセットに持ち込んだが2-1で敗れた。全英は体調次第で出たいが、この全豪が最後かも…と談話。
伊藤、土居が本戦入り
全豪予選の日本勢男子は綿貫陽介、守屋宏紀、伊藤竜馬が3

ん？色白なおみ



日清食品、広告中止
回戦進出。伊藤が勝って本戦入り。杉田祐一、添田豪は2回戦負け。女子は土居美咲が3回戦を突破して本戦へ。奈良くるみは2回戦敗退。

男子は服部猛追 7位

『「大坂なおみの肌の色が白すぎる」一日清食品の動画アニメ広告に日本国内で批判』とNYタイムズが報道。日清食品は「配慮不足」を認め、陳謝し広告の公開を取りやめた。当の大坂は「私の褐色は明白。意図的に白人化されたんじゃないと思う。次に描く時は私に相談して」と冷静「なおみ節」で対応。見た？この動画。

Jr女子複 川口組優勝
全豪ジュニア女子複決勝で川口夏美(MED)、ハンガリー選手とのペアが米国選手ペアに6-1、6-1で勝って優勝した。

愛知駅伝瀬戸8位入賞

愛知駅伝(12月・万博公園・9区間)で瀬戸は8位で連続入賞。1区、バスケット二刀流の阪井が4年連続区間賞。7区・庄司が4度目区間賞。市部門は豊田、町村・阿久比ともV2。

名城が大学女子2冠

大学女子の富士山駅伝(12月・7区間)は名城大が立命館のV6を阻み、大会新で初優勝。1年生アカ！高松も好走。全日本連覇に続く初の2冠。2位・大東、3位・立命館。

箱根は東海大

箱根駅伝は46回目出場の東海大が10時間52分9秒の大大会新で初優勝。5連覇をめざした青山学院大は総合2位。往路は東洋がV2。東海、国学院、駒込の順。青学は4区・5区の不調で東洋が5分30秒差6位。復路、東海は8区・小松の区間新で東洋を逆転。9区、10区は楽々逃げ切り。青学は山下りの小野田(豊川高出・4年)の2年連続なら区間賞3で復路優勝したが、東海に3分41秒差。3位・東洋。

池江 白血病

復帰へ世界が激励
池江璃花子が白血病公表。水泳5つの日本記録・アジア大会6冠。18歳・東京の高校生。世界豪強との豪州合宿で異様な疲れ方…緊急帰国し検査即入院。「治療に専念。更に強くなった私を見せたい。必ず戻ります！」と前向き。水泳界に限らず錦織も激励。世界が闘病エール。元アイドル・堀ちえみ(52歳)舌癌手術。

STKニュース

瀬戸市テニス協会業務部が発行の会報(原則隔月、1975年(昭和50年)創刊。98年から定期刊行。第10号まで梶田俊幸・元理事が制作。2000年・第11号から理事・近藤峰夫が編集、発送。毎月瀬戸市テニス協会・HPに掲載。

あしひこメモ

- 大震災から8年。統計不正、森友・加計同様、官邸堅く防衛。沖縄無視の埋め立て続行。トラップ、気もそぞろの米朝会談。
- 大坂、サインと解約。後任は高名選手じゃなかった。本号、予定変更し春季大会受付(15日)前の発行。黄色い球春到来！
- 瀬戸のアスリート活躍。愛知駅伝連続入賞。全国女子駅伝で庄司、阪井が愛知2度目優勝に貢献。高校女子サッカーで聖カピタニオが健闘。初の8強。
- サッカーGK川口、楢崎が引退。吉田沙緒里、野獸・松本薫、横綱・稀勢の里ら大物も。
- 兼高かおる、市原悦子、梅原猛、堺屋太一、ミシェル・ルグラン、鳥人ニッカネン、ドナルド・キーンら他界。新元号？勝手にせい！私は可能な限り使いません。(業務理事 会報担当・近藤)